

## 5名の議員が町政を問う

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



平野 武志 議員  
hirano takeshi

## 問 パークゴルフ場のコース拡大、公認認定コースにはできないか

## 答 魅力ある現状のコースを維持していく —— 教育長

**木古内パークゴルフ場について**

今後、競技人口が益々増えることが予想される中、コースの拡大や日本パークゴルフ協会公認コース申請をするべきだと思います。

また、若年層へのPRや多くの方が町に来てもらえる策の一つとしてパークゴルフを活用したツアー企画を町として取り組むべきだと思います。教育長の見解を伺います。

**野村教育長** 基本的な考え方は、町民の健康増進で、現状の27ホールにおいても、十分な規模であり、町外利用者から見ても魅力あるコース設計であると思っています。公認コースについても、外部への発進力があるものと認識していますが、大切なことは利用者が

満足し、魅力あるコースを維持することだと考えます。

また、若年層へのPR活動は利用拡大の課題であると認識しています。大会では「初心者」の新設をはじめ、より多くの社会教育事業への取り組みを進めているところです。最後のツアー事業については、教育委員会事業としては、ツアー企画は考えていません。



道南屈指のコース  
木古内パークゴルフ場

**男女共同参画社会の取り組みについて**

男女共同参画社会基本法を制定してから16年が経過しました。都市部では女性の活躍が目立っていますが、当町を含む郡部では、あまり取り組みが見られていません。女性の視点を取り入れることにより、町の活性化が図られることもありま

す。今後の職員人事や各種委員会の任命などの女性登用について、町長の見解を伺います。

**大森町長** 女性比率については、各種委員の構成が33%、町職員が36%（女性職員が多い病院事業を除く）職種内訳では管理職はいません。主幹・主査職26%、主任職73%、主事・技師等では42%となっています。

このように当町の女

性雇用率は、事業所としては高いほうに位置しています。今後も職員の働きやすい環境や能力を最大限に生かせる適材適所に配慮しながら、基本理念に基づき運営をしていきます。

**大森町長の次期出馬について**

4期16年の大森町長体制も残すところ半年の任期となりました。これまで、当町を牽引してきた町長には敬意を表します。次期出馬についての見解を伺います。

**大森町長** 新幹線時代にしつかりと対応し、微力ではありますが、全力でその任務に当たっていきたくと考えています。